2027年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月6日

上場会社名　株式会社 ホーブ　　上場取引所　東
コード番号　1382　URL https://hob.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 政場　秀
問合せ先責任者　(役職名) 取締役経営管理部長　(氏名) 馬場　文秀　TEL 0166-83-3555

配当支払開始予定日　―
決算補足説明資料作成の有無　：　無
決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年6月期第1四半期の連結業績(2026年7月1日～2026年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年6月期第1四半期	354	12.4	△50	―	△47	―	△49	―
2026年6月期第1四半期	315	△3.3	△55	―	△54	―	△53	―

(注) 包括利益　2027年6月期第1四半期　△49百万円　(―%)　2026年6月期第1四半期　△53百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年6月期第1四半期	△64.54	―
2026年6月期第1四半期	△70.75	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年6月期第1四半期	904	602	66.6	791.54
2026年6月期	1,097	690	62.9	906.11

(参考) 自己資本　2027年6月期第1四半期　602百万円　2026年6月期　690百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年6月期	―	0.00	―	50.00	50.00
2027年6月期	―				
2027年6月期(予想)		0.00	―	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　有

詳細は、本日(2026年11月6日)公表いたしました「2027年6月期の配当予想の修正(無配)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2027年 6月期の連結業績予想(2026年 7月 1日～2027年 6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,343	6.9	16	―	16	―	△28	―	△38.06
通期	2,545	7.3	28	―	28	―	△21	―	△28.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

詳細は、本日(2026年11月6日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 ： 無

新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有

詳細は、添付資料8ページ「2.四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧下さい。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年6月期1Q	762,000 株	2026年6月期	762,000 株
② 期末自己株式数	2027年6月期1Q	757 株	2026年6月期	380 株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年6月期1Q	761,397 株	2026年6月期1Q	761,639 株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー ： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等は、添付資料3ページ「1．経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 9
（重要な後発事象の注記） …… 10

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気に緩やかな回復基調が見られましたが、長期化するウクライナ情勢の緊迫や中東情勢の動向も不安定となる中、世界的な資源価格の値上がりや物流コストの高騰により物価上昇が継続しており、先行きが不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、自社いちご品種「夏瑞／なつみずき」（品種登録名「ペチカほのか」）を中心に、いちご果実及びその他青果物の販売に注力してまいりました。

この結果、当第１四半期連結累計期間の業績は、売上高354,583千円（前年同期比12.4％増加）、営業損失50,424千円（前年同期は営業損失55,392千円）、経常損失47,575千円（前年同期は経常損失54,493千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失49,139千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失53,887千円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

（いちご果実・青果事業）

いちご果実・青果事業の主力商品は業務用いちご果実であります。当第１四半期連結累計期間におけるいちご果実販売は、主に自社品種「夏瑞／なつみずき」（品種登録名「ペチカほのか」）、「コア」（品種登録名「ペチカエバー」）と国産他品種、輸入いちごを併用しております。

前年は記録的な猛暑が自社品種をはじめとした夏いちごの生育に深刻な影響を与えましたが、今年は厳しい暑さとなることはなく、自社品種の出荷数量は前年同期を上回りました。物価高による消費者の節約志向等もあり、販売環境としては厳しい状況が続きましたが、新規販売先を獲得するなど販売数量の確保に努めました。

その他の青果物におきましては、大手取引先の使用量が減少し、売上高、利益ともに前年同期を下回る結果となりました。

以上により、売上高は前年同期を上回りましたが、配送コストの増加により利益は前年同期を下回る結果となりました。

この結果、いちご果実・青果事業の売上高は299,021千円（前年同期比8.6％増加）、営業損失は1,919千円（前年同期は営業損失1,632千円）となりました。

（種苗事業）

種苗事業は、自社品種の「ペチカほのか」（商品名「夏瑞／なつみずき」）と「ペチカエバー」（商品名「コア」）の種苗を生産販売しております。栽培方法には、秋に苗を定植し翌年春から秋にかけて果実を生産する秋定植と、春に苗を定植し夏から秋にかけて果実を生産する春定植の、概ね２体系の作型があります。

当第１四半期連結累計期間におきましては、秋定植用苗を販売しております。種苗の販売本数が減少したものの、栽培指導業務の受託による収益があったことで、売上高、利益ともに前年同期を上回りました。

この結果、種苗事業の売上高は3,920千円（前年同期比152.6％増加）、営業利益は1,065千円（前年同期は営業損失1,367千円）となりました。

（馬鈴薯事業）

馬鈴薯事業は、主に種馬鈴薯の生産販売、仕入販売と、青果馬鈴薯の仕入販売からなります。主要売上品である種馬鈴薯には、秋から春にかけて販売する春作と夏に販売する秋作の２体系がありますが、そのメインは春作種馬鈴薯です。当第１四半期連結累計期間におきましては、主に秋作種馬鈴薯の販売を行っております。

当第１四半期連結累計期間におきましては、種馬鈴薯の不作と、熊本地震の影響により一部出荷ができなかった商品があり、売上高は前年同期を若干下回りました。利益については販売単価の見直し等を行い、前年並みとなりました。

この結果、馬鈴薯事業の売上高は8,196千円(前年同期比5.0％減少）、営業損失は2,025千円(前年同期は営業損失2,172千円）となりました。

（運送事業）

運送事業は、株式会社エス・ロジスティックスが行っております。関東圏を中心とした事業展開で、当社の商品配送を中核として、一般荷主からの配送業務受託も行っております。当第１四半期連結累計期間におきましては、新規配送業務を受託したことにより、売上高、利益ともに前年同期を上回りました。

この結果、運送事業の売上高は43,444千円（前年同期比45.3％増加）、営業利益は1,059千円（前年同期は営業損失1,752千円）となりました。

（２）当四半期の財政状態の概況

（流動資産）

流動資産は、前連結会計年度末と比較して205,646千円減少し、当第１四半期連結会計期間末で770,928千円となりました。これは売掛金が減少したことが主因であります。

（固定資産）

固定資産は、前連結会計年度末と比較して12,514千円増加し、当第１四半期連結会計期間末で133,897千円となりました。これは機械装置及び運搬具、投資その他の資産が増加したことが主因であります。

（流動負債）

流動負債は、前連結会計年度末と比較して100,466千円減少し、当第１四半期連結会計期間末で143,810千円となりました。これは賞与引当金が増加したものの、買掛金が減少したことが主因であります。

（固定負債）

固定負債は、前連結会計年度末と比較して5,112千円減少し、当第１四半期連結会計期間末で158,459千円となりました。

（純資産）

純資産は、前連結会計年度末と比較して87,553千円減少し、602,555千円となりました。なお、自己資本比率は前連結会計年度末の62.9%から66.6%となっております。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2026年８月７日の「2026年６月期決算短信」で公表いたしました第２四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2026年11月６日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年６月30日）	当第１四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	405,552	404,247
売掛金	515,784	306,793
棚卸資産	44,648	48,873
その他	10,638	11,043
貸倒引当金	△50	△29
流動資産合計	976,574	770,928
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	30,699	31,350
機械装置及び運搬具（純額）	16,424	23,642
土地	37,400	37,400
その他（純額）	1,468	1,314
有形固定資産合計	85,993	93,706
投資その他の資産		
その他	35,389	40,190
投資その他の資産合計	35,389	40,190
固定資産合計	121,382	133,897
資産合計	1,097,957	904,825
負債の部		
流動負債		
買掛金	179,902	64,851
未払法人税等	2,614	1,186
賞与引当金	―	6,789
その他	61,759	70,983
流動負債合計	244,276	143,810
固定負債		
退職給付に係る負債	53,748	47,510
役員退職慰労引当金	106,630	107,755
その他	3,193	3,194
固定負債合計	163,571	158,459
負債合計	407,848	302,269

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年６月30日）	当第１四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	421,250	421,250
資本剰余金	110,791	110,791
利益剰余金	158,585	71,364
自己株式	△517	△850
株主資本合計	690,108	602,555
純資産合計	690,108	602,555
負債純資産合計	1,097,957	904,825

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2025年７月１日 至　2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2026年７月１日 至　2026年９月30日）
売上高	315,426	354,583
売上原価	236,778	265,578
売上総利益	78,647	89,004
販売費及び一般管理費	134,040	139,428
営業損失（△）	△55,392	△50,424
営業外収益		
受取利息	468	761
助成金収入	250	－
為替差益	－	47
受取保険金	61	1,969
その他	285	284
営業外収益合計	1,065	3,062
営業外費用		
支払利息	118	213
為替差損	47	－
営業外費用合計	165	213
経常損失（△）	△54,493	△47,575
特別利益		
固定資産売却益	1,025	－
特別利益合計	1,025	－
税金等調整前四半期純損失（△）	△53,467	△47,575
法人税等	419	1,563
四半期純損失（△）	△53,887	△49,139
親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△53,887	△49,139

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2025年７月１日 至　2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2026年７月１日 至　2026年９月30日）
四半期純損失（△）	△53,887	△49,139
四半期包括利益	△53,887	△49,139
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△53,887	△49,139
非支配株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第１四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第１四半期連結累計期間に係る減価償却費は、次のとおりであります。

	前第１四半期連結累計期間 （自　2025年７月１日 至　2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2026年７月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	4,906千円	4,059千円

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自2025年７月１日　至2025年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント				合計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	いちご果実・青果	種苗	馬鈴薯	運送			
売上高							
国内売上高	275,352	1,302	8,623	29,897	315,176	－	315,176
海外売上高	－	249	－	－	249	－	249
顧客との契約から生じる収益	275,352	1,552	8,623	29,897	315,426	－	315,426
外部顧客への売上高	275,352	1,552	8,623	29,897	315,426	－	315,426
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	23,823	23,823	△23,823	－
計	275,352	1,552	8,623	53,721	339,250	△23,823	315,426
セグメント損失（△）	△1,632	△1,367	△2,172	△1,752	△6,924	△48,467	△55,392

（注）１．セグメント損失の調整額△48,467千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

２．セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自2026年７月１日　至2026年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント				合計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	いちご果実・青果	種苗	馬鈴薯	運送			
売上高							
国内売上高	299,021	2,227	8,196	43,444	352,889	－	352,889
海外売上高	－	1,693	－	－	1,693	－	1,693
顧客との契約から生じる収益	299,021	3,920	8,196	43,444	354,583	－	354,583
外部顧客への売上高	299,021	3,920	8,196	43,444	354,583	－	354,583
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	25,560	25,560	△25,560	－
計	299,021	3,920	8,196	69,005	380,143	△25,560	354,583
セグメント利益又はセグメント損失（△）	△1,919	1,065	△2,025	1,059	△1,820	△48,604	△50,424

（注）１．セグメント損失の調整額△48,604千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

２．セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

（重要な後発事象の注記）

当社は、2026年11月６日開催の取締役会において、いわゆるマネジメント・バイアウト（ＭＢＯ）（注）の一環として行われる株式会社髙橋企画（以下「公開買付者」といいます。）による当社の普通株式（以下「当社株式」といいます。）に対する公開買付け（以下「本公開買付け」といいます。）に賛同の意見を表明するとともに、当社の株主の皆様に対して、本公開買付けへの応募を推奨する旨の決議をいたしました。

なお、上記取締役会決議は、公開買付者が、本公開買付け及びその後の一連の手続により、当社を完全子会社化することを企図していることを前提として行われたものです。また、当社株式については、本公開買付けの成否にかかわらず、2027年１月１日付での上場廃止が既に決定されております。

詳細については、2026年11月６日公表の「MBOの実施及び応募の推奨に関するお知らせ」をご参照ください。

（注）「マネジメント・バイアウト（ＭＢＯ）」とは、公開買付者が公開買付対象者の役員である公開買付け（公開買付者が公開買付対象者の役員の依頼に基づき公開買付けを行う者であって公開買付対象者の役員と利益を共通にする者である公開買付けを含みます。）をいいます。